

三浦のぶひろ 通信

発行元：公明党参議院神奈川選挙区第3総支部 横浜市中区長者町5-48-2 トローチャンビル303

神奈川の物流とインフラを支え、現場の課題解決に取り組む

参議院
国土交通
委員会

論 戦

物流の効率化、人手不足、資材価格の高騰、建設業の維持。参議院国土交通委員会にて現場で寄せられた声、暮らしや地域経済を支える現場の課題について、解決を目指し質疑を重ねています。より良い神奈川へ、取り組みを続けます。

オンシャーシデポの活用で物流効率化を

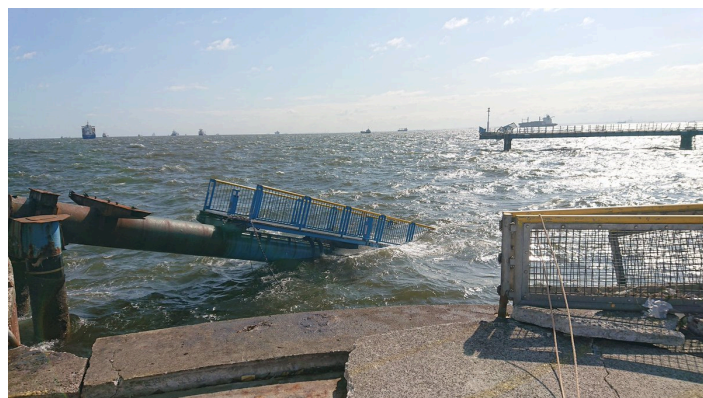
日本経済を支える横浜港ではコンテナ輸送の効率化への課題克服が不可欠。コンテナ輸送効率化の鍵となる「オンシャーシデポ」の活用について質問しました。

オンシャーシデポは、港湾近傍にコンテナを一時仮置きができ、コンテナを積み替えることなく、シャーシごと受け渡すことで物流を効率化する仕組みです。トラックの待機時間削減やドライバー負担軽減、物流拠点周辺の渋滞緩和などが期待されています。

一方、トラクター（けん引車）とシャーシ（台車）の組み合わせが車検証に記載されていないと連結して運行できない制度が、オンシャーシデポ効率的実用化の妨げになっており、規制緩和、運用統一の実現を強く迫りました。国交大臣から、「実証実験の知見を活かし、安全確保と両立した運用の統一や手続きの迅速化に向けて、関係省庁と連携してスピード感をもって取り組む」と前向きな方針を引き出しました。



写真キャプションを入力してください。
(0000年00月00日)



横浜湘南道路、横浜環状南線のジャンクションにて。神奈川の利便性を向上へ。道路ネットワークの更なる充実に全力。（2026年4月20日）

物流の生産性向上には、施設整備だけでなく制度改革も重要です。現場目線で物流改革をさらに後押しします。

4月、藤沢市、横浜市の横浜湘南道路と横浜環状南線の工事現場を視察しました。現地では橋脚工事やトンネル工事の進捗を確認し、関係者の皆様と意見交換を行いました。両路線は圏央道や横浜横須賀道路と接続し、横浜港と内陸部を結ぶ重要な広域道路ネットワークです。完成すれば、横浜南部地域の慢性的な渋滞緩和、物流効率化、災害時の代替ルート確保、観光振興や地域経済の活性化など大きな効果が期待されています。

委員会質疑では、道路インフラ整備の重要性、両道路の開通の要望と見通しを取り上げ、交通ネットワーク整備を着実に進め、両道路の早期完成を目指す国交省より答弁が。

一日も早い完成に向けて、取り組みます。



参議院議員
三浦
のぶひろ
PROFILE

●1975年3月5日生まれ、50歳、横浜市在住。●家族は妻と娘と愛犬メイ●宮城県仙台市出身。福島県立福島高校、千葉工業大学金属工学科を卒業後、防衛大学校精密機械工学科（現機械システム工学科）助手に。●2003年、東京工業大学にて工学の博士号取得。先進発電機器材料の国際会議で、最優秀の発表者に贈られる「ベストポスター賞」を連続受賞（02・06年）。●2012年、防衛大学校准教授に就任。●参議院議員通常選挙神奈川選挙区2016年7月初当選、2022年7月当選2期。●参議院 外交防衛委員会理事、予算委員会委員。●公明党 選挙対策委員長、安全保障部会長、科学技術委員会／障がい者福祉委員会委員長、外交安全保障調査会／経済安全保障対策本部／うつ対策PT事務局長、党東海道方面本部長、神奈川県本部代表（2026年3月現在）



三浦のぶひろ おすすめYouTube動画
【1分でわかる】
三浦のぶひろが進める政治



公式サイト・SNSのリンク集
三浦のぶひろ公式リンク

